公益社団法人日本油化学会･オレオマテリアル部会
関西地区講演会

～オレオマテリアルを用いた環境浄化～

主 催：公益社団法人日本油化学会・オレオマテリアル部会
協 賛：日本化粧品技術者会大阪支部
日 時：平成 23 年 11 月 25 日(金)13 時 30 分～17 時 00 分
会 場：大阪市立工業研究所講堂(〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1-6-50)
【交通】JR 大阪環状線・地下鉄中央線「森ノ宮」駅下車，東へ 350 m の赤十字血液センターの角を北へ 300 m，森之宮小学校北隣。徒歩約 7 分。

プログラム：

1.「膜による水の浄化技術と実用例　ー海水淡水化を中心にー」　13:40～14:40
東洋紡績株式会社　アクア膜事業部　熊野　淳夫　氏

膜による分離操作は，一般に，相変化を伴わないため，エネルギー消費量が少ないのみならず，化学変化も生じないため，反応副生成物質からなる有害物質を生じることがないという特徴があり，環境に優しい分離手法と言われている。したがって，近年，地球規模での水不足問題の解決手段として膜による水処理技術が注目されている。ここでは，膜の種類と膜を用いた水処理技術について，海水淡水化の場合を中心に，それらの実用例を含めて紹介する。

2.「ネオスと流出油処理剤について」　14:50～15:50
株式会社ネオス　化学品技術部　　長谷川　泰亮　氏

近年においても，メキシコ湾での石油掘削施設爆発や日本近海でのナホトカ号沈没によって流出油事故が発生している。本講演では，海に流出した油を乳化･分散させ，分解を促進させる「流出油処理剤」のメカニズムや特徴について解説する。

3.「界面活性剤の環境浄化への応用」　16:00～17:00

ミヨシ油脂株式会社　油化本部　　戸田　稔　氏

ＶＯＣ汚染土壌の浄化方法の一つであるバイオレメディエーションは，大型の浄化設備などを用いる必要が無く，土地や施設を使用しながら原位置で浄化でき，経済性に優れていることなどの利点がある。バイオレメディエーションで利用する微生物を活性化するための栄養源として，界面活性剤の乳化・分散技術を利用して開発したバイオ浄化剤などについて述べる。

参加費：　正会員 5,000 円，法人会員および協賛会員 6,000 円，会員外 10,000 円，学　生 2,000 円（テキスト代，消費税を含みます）
11 月 18 日(金)までに下記へご送金ください。送金手数料はご負担ください。なお，納入された参加費は返金いたしかねますので，予めご了承ください。

送金先：近畿大阪銀行 緑橋支店 （普通）0722369 オレオマテリアル部会

申込方法：①参加者氏名，②勤務先（名称，住所，電話番号，FAX 番号，電子メールアドレス），③参加資格（会員の方は会員番号をご記入ください）を下記宛に電子メールにてご送信ください。

申込先：　〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1
大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻　木田敏之 宛
Fax：06-6879-7359　**E-mail: kida@chem.eng.osaka-u.ac.jp**

申込締切：11 月 18 日(金)